

## 通期の見通し

### ■企業のIT投資は底堅く推移すると予想

今後、国内景気は引き続き緩やかながらも回復していくことが期待されます。しかし米国の保護主義的な通商政策、世界の金融市場の急激な変化、地政学的リスクなど懸念材料もあり、一部に慎重な動きも予想されます。このような経済環境のもとで、堅調な国内企業の業績に加え経済対策の強化や東京オリンピックに向けたインフラ整備などを背景に、働き方改革や人手不足への対応、AIやRPA、IoT等の新たな技術の活用への関心もあり、企業のIT投資は今後も底堅く推移するものと予想されます。

### ■現場力の強化、ソリューション提案

以上のような経済状況や企業のIT投資動向に対する見通しを前提として、引き続き当社グループの強みである幅広い取扱い商材やサービスを活かした具体的で分かりやすい提案に努め、合わせて新規顧客の獲得もさらに進めていきます。そのために地域主導の運営を継続し、お客様の信頼が得られお客様に満足して頂けるソリューションの提案ができるよう現場力の強化に努めていきます。また、オフィスサプライ商品の品揃えや保守サービスメニューの開発等でストックビジネスを強化し、お客様との安定的かつ長期的な取引関係に基づく収益基盤の充実を図ります。

### 2018年下期の市場予測

- 国内外ともに、緩やかな景気回復を継続
- 攻めのIT投資、生産性向上、コスト削減ニーズ
- 人手不足への対応、省人化ニーズ
- AI、IoTなど新たなIT技術への関心の高まり
- 働き方改革の更なる進展
- 企業のIT活用ニーズ、省エネニーズは底堅い

### 2018年下期の方針と施策

- 『オールフロントでソリューションを活かし、  
信頼に応える』
- 地域営業部主体の運営で現場力・お客様接点の強化
  - お客様との取引品目を拡大、クロスセル
  - 働き方改革を推進、支援
  - AI、IoTなど取り組み強化
  - ソリューション提案の更なる強化
  - 物流体制の強化

## ■セグメント別の施策

システムインテグレーション事業では、パソコンを中心とした入換え需要の動向、働き方改革や生産性向上・コスト削減へのニーズを見極めながら、複写機・コンピューター・タブレット等のモバイル端末・光回線やWi-Fiをベースにしたコミュニケーション環境・セキュリティ関連機器等を組み合わせた複合システム提案や総合提案をさらに推進し、ソリューション提案の強化を図ります。

サービス&サポート事業では、オフィスサプライ通信販売事業「たのめーる」において、引き続きお客様のニーズに合わせた品揃え、商材の拡充、プライベートブランド商品「TANOSEE」の充実等を図ります。また、サポート事業「たよれーる」において、総合的な運用代行型のサービス等、お客様のIT人材不足を補完できるようなサービスの開発に努めます。さらに、お客様との関係創りを支援する「お客様マイページ」を中心とした仕組みを充実させていきます。



<https://www.tanomail.com/>

## ■通期の業績予想

通期の連結業績予想は以下のとおりです。

売上高7,200億円(前年同期比4.2%増)、営業利益473億円(前年同期比6.6%増)、経常利益480億円(前年同期比5.6%増)、親会社株主に帰属する当期純利益318億80百万円(前年同期比1.0%増)。

セグメント別の売上高では、システムインテグレーション事業4,264億20百万円(前年同期比4.3%増)、サービス&サポート事業2,935億80百万円(前年同期比4.1%増)。

2018年2月1日に発表した連結業績予想に変更はありません。

売上高・利益計画

(単位:百万円)

	2017年 12月期	2018年12月期 (計画)	
	金額	金額	増減率
売上高	691,166	720,000	+4.2%
営業利益	44,386	47,300	+6.6%
経常利益	45,460	48,000	+5.6%
純利益*	31,560	31,880	+1.0%

※親会社株主に帰属する当期純利益

セグメント別売上高計画

(単位:百万円)

	2017年 12月期	2018年12月期 (計画)	
	金額	金額	増減率
システムインテグレーション事業	408,718	426,420	+4.3%
サービス&サポート事業	282,064	293,580	+4.1%
その他の事業	383	—	—